寺社を巡る会

活　動　記　録　書

開 催 日： 平成 27 年９月 11 日（金）	開催テーマ： 鶴見川沿いに点在する古刹と往時の生活を偲ぶ
開催場所： 新羽地区	記 入 者： 寺田　英男

参加人数：　寺社を巡る会会員　男　２５名　女　４名　計　２９名
ビジター　男　１名　女　名　計　１名
合　計　３０名

実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題　など）：

コース：　新羽駅　～　西方寺(法話拝聴)　～　新羽杉山神社　～　光明寺～　北新羽地蔵堂（昼食）
～　北新羽杉山神社　～　蓮華寺　～　間道　～　善教寺　～　千石上納米土蔵跡　～　新羽駅　（解散）

平成 27 年度の探訪は神奈川区いまむかしガイドの会にお世話になる。その第 1 回は久しぶりの晴天でスタートする。新羽地区は都筑郡に属し、古くから発達した村で考古学的資料は豊富という。鶴見川沿いの村は舟運が盛んで栄えたが、一方洪水との戦いの歴史を持つ。

最初に訪れたのは　安養院　西方寺、建久年間創建の古刹。重要指定文化財たる本堂、鐘楼、山門と今は少ない茅葺屋根が素晴らしい。造りは平等院とそっくりと言われ、欄間の彫刻や板絵の天女の舞い等歴史的な遺産である。本尊は黒本尊といわれる阿弥陀如来坐像、極楽寺から移ってきた経緯など老住職の法話を拝聴、庭先の赤、黄、白の彼岸花も良かった。

次は新羽杉山神社、西方寺持ちの明治はじめからの神社、因みに杉山神社の名は非常に数多く、鶴見川流域だけでも 22 社の杉山神社がある。

続いて、遍照山　光明寺、本尊　大日如来 1496 年開創。

北新羽地蔵堂は光明寺の境外堂。念仏の呪力により、悪魔や疫病が退散すると信じられていた時代の地元婦人達により建てられたもの。ここの敷地内にある新羽町内会館を借りて、昼食を摂る。

午後の最初は　北新羽杉山神社、室町時代末期大和の国三輪明神の分霊を遷したという。日本一の青銅製の大黒様がある。ネズミの狛犬も珍しい。

続いて新照山　蓮華寺　新義真言宗の寺院、本尊は大日如来坐像で、体内に行基作の大日如来を納めるといわれるが、拝観は出来ず。境内にある薬師堂は「眼の薬師」として近郷の人達の信仰を集めている。

間道という大石内蔵助が仇討ちのため密かに江戸へ向かった古道を通り、　平等山　善教寺に着く。浄土真宗本願寺派、本願寺より「兼帯所（本山直轄寺）」の位を貰い「新羽御坊」となっている本山に次ぐ格の高い寺院である。本尊阿弥陀如来、山門が立派。

最後は千石上納米土蔵跡、２階建茅葺、火災に耐えるため、壁、屋根すべて土に覆われた土蔵を垣間見て、新羽駅に戻る。　　なお、今回の探訪は、ガイドの会の都合で 2 班体制で実施した。

参加者の状況・意見など：

天候に恵まれると共に、ガイドの皆さんの行き届いた説明や対応で、充実した一日だった。
歩行距離や時間も無理なく設定されていたと思われた。

次回の予定：

10 月 1 日（木）　１０：００　片倉町駅集合　　菅田・羽沢地区